

# 水稻技術情報 Vol.2

令和4(2022)年4月28日  
芳賀農業振興事務所

- ・ **適期移植を心がけましょう！**
- ・ **水や除草剤の管理をしっかりと行いましょう！**

## 1. 作業のポイント

### 適期移植

管内の移植の適期（主食用米）

早限	適期	晩限
4月25日頃	5月上旬～5月中旬	6月15日頃

5月上旬（大型連休）に作期が集中してしまいがちですが、中旬まで分散させることで、出穂時の高温を回避しやすくなり品質・収量が安定しやすくなります。  
※稚苗移植の早限は、平均気温が12～12.5℃になる時期です。

### 耕深

#### 作土が浅いと…

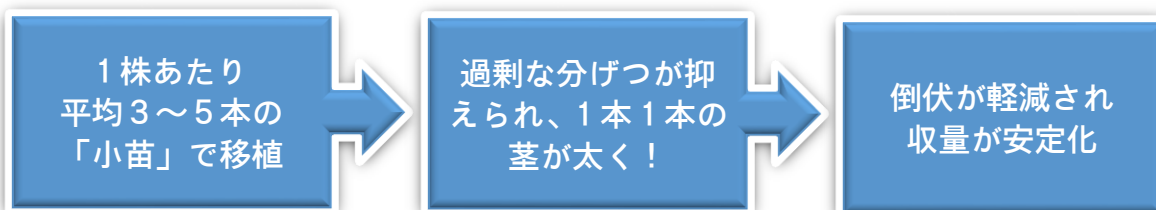
- ・ 根域が狭くなる
- ・ 肥料や土壌水分の急な変化を強く受けてしまう
- ・ 冷害等の気象災害の影響を受けやすく

ゆっくり耕して、作土深は15cm以上を確保するようにしましょう！

### 田植え

植付け株数は60～70株/坪、植付本数は3～5本植えを標準としましょう。植付け本数を多くすると、過繁茂や倒伏を助長し、品質や食味も低下しやすくなります。

また、苗が移植に支障が出るほど長くなってしまった場合は15～18cm位に葉を切りそろえてください。



## 水管理

<移植直後>

水深を5 cm程度の深水に保ち、活着を促進させましょう。脱水や寒風害の防止にもつながります。

1週間～2週間して苗が活着したら浅水にして田水温の上昇に努め、分けつの発生を促しましょう。夜間～早朝に水を入れ、日中止水することで、水温が効果的に保持されます。

<分けつ期>

移植後一ヶ月程が過ぎ、茎数が確保されたら、間断かん水に移行しましょう。

### Point!

水稻の苗は酸素が多いと、根が下層まで伸び、直径が太い比率も増加し根量も多くなります。酸素不足にならないように、**間断かん水はぜひ早めから行いましょう。**

## 除草剤

除草剤は、散布ムラがあると効果が低下するだけでなく、薬害が発生する可能性があるため、均一散布を心がけましょう。

また、一発剤の散布時期は、早過ぎると薬害が生じやすいばかりでなく、多年生雑草の防除効果が低下し、遅過ぎると1年生雑草に効果が落ちるので、移植後日数及び雑草の葉齢に注意し、基準を守って散布しましょう。

### ⚠除草剤の注意⚠

- ・除草剤を散布する直前は湛水深を5 cm位のやや深水にしましょう。
- ・散布後1週間絶対に落水・かけ流しをせず、処理層を安定させましょう。
- ・その後、差し水等で水深3～4 cmの水位を保ち、地表面は絶対露出させないようにしましょう。

## 2. 防除について

近年、イネ縞葉枯苗の被害は少なくなっていますが、越冬世代幼虫の生息密度県平均 98.4 頭/10 m<sup>2</sup> (平年比 156%) と平年よりやや多い発生でした。

今後の気象条件によっては、ヒメトビウンカの発生量が多くなり、被害が出る可能性もありますので、とちぎの星などの抵抗性品種の作付や、箱施用剤の使用など防除対策を行ってください。



4月～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。

「自分だけは大丈夫」と思わないで、いつもの作業も安全確認を！